

第3章 疾病・事業ごとの医療福祉体制

1 がん（詳細については、別途「滋賀県がん対策推進計画」（令和6年3月）を策定）

目指す姿

- 県民が、がんを知り、がんを予防し、がんになっても納得した医療・支援が切れ目なく受けられ、自分らしく暮らせる滋賀を目指す

取組の方向性

- (1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- (2) 患者本位のがん医療の実現
- (3) 尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築
- (4) これらを支える基盤の整備

現状と課題および具体的な施策は「滋賀県がん対策推進計画」の第2章（本県のがんに関する現状）および第4章（分野別施策および目標）の項目に記載する。

《数値目標》

目標項目	現状値 (R5)	目標 (R11)	備考
目指す姿（分野アウトカム）			
がん年齢調整り患率*	男性 447.6 女性 311.2 (R1)	減少	
75歳未満年齢調整死亡率* (人口10万人あたり)	59.0 (R3)	減少	
5年相対生存率*	全部位 64.4% (R1)	向上	
取組の方向性（中間アウトカム）			
喫煙率	男性 19.3% 女性 4.2% (R4)	男性 15.0% 女性 3.0% (R17)	
がん検診受診率	胃がん 35.0% 肺がん 42.0% 大腸がん 39.2% 乳がん 35.8% 子宮頸がん 32.7% (R4)	全ての受診率について 50%	*子宮頸がんは 20歳以上、その 他のがんは40歳 以上
がん検診受診率 (対象年齢69歳まで)	胃がん 40.5% 肺がん 47.6% 大腸がん 44.8%	全ての受診率について 60%	*子宮頸がんは 20歳以上、その 他のがんは40歳

目標項目	現状値 (R5)	目標 (R11)	備考
	乳がん 47.2% 子宮頸がん 40.7% (R4)		以上
質の高いがん医療の均てん化	6病院 (拠点) 1病院 (地域) 6病院 (支援) (R4)	維持	
専門的な医療従事者の配置 (拠点病院 6 病院)	放射線治療専門医 5/6 病院 がん薬物療法*専門医 4/6 病院 病理専門医 5/6 病院 細胞診専門医 5/6 病院 (R4)	増加	
がんと診断されたときから緩和ケア*の対象であると思っていると回答した割合	27.0% (R4)	増加	
がん診療領域に関する専門職員の配置状況 (がんの指定病院)	医師 常勤： 855 人 非常勤： 53.27 人 薬剤師 常勤： 83 人 非常勤： 3.97 人 看護師 常勤： 64 人 非常勤： 1.74 人 臨床心理士 常勤： 10 人 非常勤： 2 人 診療録管理士 常勤： 48 人 非常勤： 16.7 人 放射線技師 常勤： 165 人 非常勤： 6.01 人 臨床検査技師 常勤： 233 人 非常勤： 40 人	総数の増加	

目標項目	現状値 (R5)	目標 (R11)	備考
	医学物理士 常勤： 3人 非常勤： 0.3人 総数(常勤・非常勤) 1584.99人		
がん教育の外部講師 活用校数	小学校 47校 中学校 32校 高校 3校 特別支援学校 1校 (R4)	増加	
院内がん登録の実施機関数	実施：17病院 (R4)	維持	
がん情報しがへの閲覧件数	4,288件 (R4)	増加	
がん相談支援センターにおいてメール相談を実施している拠点病院数	6病院 (R4)	維持	

《ロジックモデル》

番号	具体的な施策(アウトプット)
----	----------------

1	がんの予防	
	1	生活習慣とがんに関係する感染症についての知識の普及
	2	食生活改善と身体活動の習慣化のための支援

2	がんの早期発見、がん検診	
	1	各種がん検診の受診率向上
	2	がん検診精度管理向上
	3	がん予防・検診専門部会、がん検診検討会、がん検診精度管理事業、がん登録の利田によるがん検診の精度管理

3	がん医療の充実	
	1	医療の均てん化
	2	がんゲノム医療が受けられる体制を推進
	3	診療ガイドラインに基づく集学的治療
	4	医療機関におけるセカンドオピニオン
	5	多職種による検討会を実施し患者の状況に応じたがん医療の提供
	6	質の高いリハビリテーションの提供
	7	がんと診断された時からの緩和ケアの推進

4	がん種やライフステージに応じたがん医療の提供	
	1	希少がん・難治性がんに対して県内で治療できる医療提供体制の検討
	2	小児がん、AYA世代のがんに対する医療機関の連携促進
	3	高齢者のがん患者に対する診療ガイドラインの普及

5	滋賀医大を中心に、高度・先進的ながん医療の開発、研究、人材育成	
	1	病理診断
	2	遠隔病理診断を活用した病理診断体制の維持

番号	取組の方向性(中間アウトカム)
----	-----------------

1	科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実	
	指標	成人喫煙率(男・女)
		がん検診受診率(胃・肺・大腸・乳・子宮)

2	患者本位のがん医療の実現(感染症発生・まん延時や災害時を見据えた対策を含む)	
	指標	圏質の高いがん医療の均てん化
		圏専門的な医療従事者の配置

番号	目指す姿(分野アウトカム)
----	---------------

1	県民が、がんを知り、がんを予防し、がんになっても納得した医療・支援が切れ目なく受けられ、自分らしく暮らせる滋賀を目指す	
	指標	がん年齢調整罹患率(男・女)
		75歳未満年齢調整死亡率(人口10万人あたり)
		5年相対生存率

番号	具体的な施策(アウトプット)
----	----------------

6	相談支援、情報提供	
	1	患者団体や医療機関が行う取組の支援
	2	相談支援員の質の向上と利用の増加

7	地域連携と在宅医療の充実	
	1	がん患者が望む場所での治療や療養が可能になるよう医療・介護の提供体制の構築
	2	地域連携クリティカルパスの活用促進

8	がん患者・家族等の社会的な問題への支援	
	1	離職防止や再就職のための就労支援の充実
	2	外見変化に悩む患者に対して相談支援、情報提供(アピアランスケア)

9	ライフステージに応じたがん対策	
	1	がん患者の年代や状況に応じた情報提供や支援
	2	高齢のがん患者の意思決定についての支援の検討

10	人材育成	
	1	がん医療の均てん化のためにがん医療・相談支援従事者の育成の推進
	2	高度ながん医療を担う医療従事者の育成推進

11	がん教育、がんに関する知識の普及啓発	
	1	発達年齢に応じたがん教育の実施
	2	県民に対する研修等の機会の充実

12	がん登録	
	1	がん登録の周知

13	デジタル化の推進	
	1	患者やその家族等が、がんに関する情報へ容易にアクセス

番号	取組の方向性(中間アウトカム)
----	-----------------

3	尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築	
	指標	圏がんと診断されたときから緩和ケアの対象であると思っていると回答した割合

4	これらを支える基盤の整備	
	指標	圏がん診察領域に関する専門職員の配置状況
		圏がん教育の外部講師活用校数
		圏院内がん登録の実施機関数
		圏がん情報しがへの閲覧件数
		圏がん相談支援センターにおいてメール相談を実施している拠点病院数

番号	目指す姿(分野アウトカム)
----	---------------